

東京大学との共同研究の「自動運転バスの実証実験」が国交省の補助事業に採択されました

中津川市は、東京大学 交通 都市・国土学研究室と自動運転技術を活用したまちづくりを目指し共同研究を進めており、今般、国交省(自動車局)の自動運転実証調査事業と路車協調システム実証実験(道路局)に応募し、採択されました。

■実証実験

自動運転技術を用いた、人・物の輸送サービスの実証実験の実施

- 実験①【自動運転車両による一部区間の走行】※自動運転レベル2での運行
実験②【有人運転車両による乗り合いデマンド走行】

■期間

令和5年10月4日(水)～令和5年10月29日(日) ※運休日 10/17(火) 除く月・火曜日

1. テスト運行【実験】 令和5年10月4日(水)～10月14日(土)
2. 試乗運行【実験①】 令和5年10月17日(火) 10:00～
3. 一般運行【実験①】 令和5年10月18日(水)～10月29日(日)
走行時間は、10:00～16:20(全8便)
【実験②】 令和5年10月17日(火)～10月29日(日)
走行時間は、10:00～16:30(全11便)

※詳細は、別添の実証実験のパンフレット参照

■場所 中津川市付知町地内

(自動運転車両による一部区間と有人運転のデマンド運行区域)

■取材日時 10月17日(火) 10:00～

試乗運行は、付知地域デザインミュージアム(中津川市付知町6955-8)を出発し、市長、地域代表者、地元市議、付知南小生徒3名(計7名)が乗車します。

※出発式は行いません。

■自動運転実証調査事業の概要(自動車局)

- ・地域づくりの一環として行うバスサービスなどの自動運転化に伴う経費に対して事業に要する経費を補助(10/10)し、経営面・技術面・社会受容性等の実証を推進することで、自動運転技術を活用した持続可能な移動サービスを構築することを目的とする

■実証調査事業と連携した国交省が行う路車協調システムの概要(道路局)

- ・道路のカメラやセンサーによって検知した道路交通状況を、自動運転車や遠隔監視室へ情報提供する路車協調システムの実証実験を道路局が連携して行う。

お問い合わせ先

中津川市次世代交通研究室 担当者：北原
電話：0573-66-1111(内線334)

■自動運転実証調査事業及び路車協調システム実証実験の概要

詳細は、国土交通省の以下 URL の「報道・広報、報道発表」について(令和 5 年 5 月 26 日)をご確認ください。 URL : <https://www.mlit.go.jp>

■東京大学との共同研究の概要

- ・超高速交通網との接続に向けた自動運転ネットワークの導入と地域拠点整備による新たな人の流れを創出する。

主な事業内容 3 点

- 自動運転技術の導入・運営
- 自動運転予約アプリの開発
- 拠点の創出・運営

- ・これまでの東京大学との取組内容

令和 2 年 ・中津川市と東京大学との研究連携に関する協定を締結
令和 3 年 ・自動運転技術を見据えた人・物輸送の社会実験の実施
令和 4 年 ・地域拠点施設「付知地域デザインミュージアム」の開設
モビリティサービス「付知 bin」の社会実験の実施
※「付知 bin」とは「付知便」に掛けて東大生が命名

お問い合わせ先

中津川市次世代交通研究室 担当者：北原

電話：0573-66-1111（内線 334）